

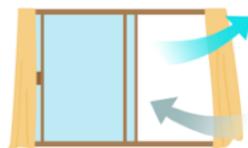
ウィズコロナ の サロン運営

安心なサロン運営の
ために徹底すること



手洗い・うがい

お客様はもとより自
分をウィルスから守る
ために徹底



換気

ウィルスを室内にため
込まないようにマメに行
う



消毒の徹底

通常のベッド周りの
消毒だけでなくドアノ
ブ等も

ガイドライン



日本ワックス脱毛協会

5月のポスター配布時に以下の内容で衛生管理の徹底を促しました

1、発熱者等の施設への入場防止

施術者はもとより、顧客にも37.5度以上の熱がある場合や体調不良を感じている場合の入店を制限する

2、3つの「密」（密閉・密集・密接）の防止

①店舗内の「密」を防ぐために顧客は1名ずつとし複数人での入店を制限する

②顧客毎に換気を行う（可能であれば2つの方向の窓を同時に開ける）

3、飛沫感染、接触感染の防止

①施術者のマスク着用、手指の消毒、使い捨て手袋の使用、咳エチケット、手洗いの励行

②入店者の手洗いとマスク着用の励行

③顧客毎に徹底した消毒（通常以上に顧客が触れた箇所もくまなく）

④消毒できない備品をなるべく使用しない（使い捨てシーツの下のパイルシーツ、布製クッションなど）

⑤施術中の顧客の服を収容する箇所には毎回交換できるビニール袋などを設置

当分は、コロナウィルスを前提に商業活動を行っていかねばなりませんので、脱毛サロンでサービスを行う際の具体的な手順をまとめました。今後のサロンサービスで実践して頂きたいと思っております。

脱毛サロンでの手順

● 技術者は、接客の間、常にマスクを着用する

● 換気を徹底して行う

施術中に窓を開けることができない場合は、施術していない際にできるだけ窓を開ける

換気扇がある場合は常に稼働させる。窓を開けて使用することで効率的に室内の空気を交換できる

● 物販品・テスター共にお客様の手に届く場所に置かない

お客様入店時

マスクの着用と手洗い又は、消毒に協力してもらう

(手洗いの場合) ソープでの手洗いを促す。ペーパータオルなど使い捨ての手拭きを用意。手洗い場所にドアがある場合、ドアノブに触らないでいよう開けておく。

(消毒の場合) 適量を技術者がお客様の手に噴射



コンサルティング・施術・会計

全ての接客をベッド周りで行う

お客様が触る箇所が最小限になるよう、ウェイティングスペースを極力使用せず、ベッド横に殺菌可能な椅子を用意して、腰掛けてもらい、1m間隔を取ってコンサルティングを行う。

同意書は、椅子に座ったまま書けるようにクリップボード等を利用する。

施術の際、同じ椅子に荷物と服を置いてもらう

(荷物置き用の籠などを用意する場合は、消毒できるプラスチック製を使用するか顧客毎に破棄できるビニールなどを設置する)

施術後、アフターケアの説明・会計もベッド横で済ます



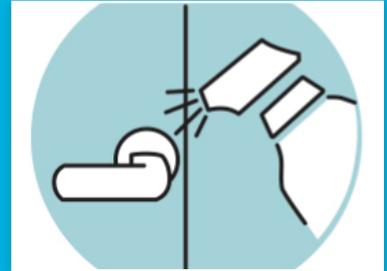
お客様を送り出した後

まずは、**手洗い**をして、**ゴミ**は袋の口をしっかりと閉め、蓋付きのゴミ箱に顧客毎に捨てる。(毎日、閉店後にゴミ出しを行う) 通常のベッド周りの消毒に加えて、お客様が触れた箇所や物ももれなく消毒します。

(例) ドアノブ、使用された場合はトイレ周り

全ての消毒が終わった後に再度、手洗いを行います

より意識して徹底
しましょう



小まめな消毒



ゴミは必ず密閉



サロンコートは清潔に



換気には入口と出口が必要です。(例) 窓とドアを開ける、窓を開けて換気扇を稼働、エアコンの換気モード